

2025年10月1日

神戸学園都市 YMCA こども園 10月えんだより

10月の聖句「あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのです。」

ペトロの手紙Ⅰ 4章10節

厳しかった夏の暑さもようやくひと段落。朝夕は随分しのぎやすくなってきました。先日、所用で猪名川まで出かける機会がありましたが、道々のあちらこちらの畦に彼岸花が咲き誇っていました。また、所々で秋桜の姿と共に、頭を垂れた稲穂の上を飛び交う赤とんぼの姿も目にしました。子どもたちにとっては、存分に外遊びができるこの季節を楽しみたいと思います。

もう、40年余り昔のことになりますが、YMCAに入職間もない頃に10数名の学生ボランティアリーダーと共に、子どもたちの野外活動やキャンプに携わっていました。毎月、活動の内容や行先を変えて行っていた野外活動や、シーズンごとのキャンプなど活動は多岐にわたり、学生リーダーたちも大忙しの毎日でした。毎月行っていた野外活動では、小学1年生から6年生までの子どもたちが50名余り。毎月、何をしようか、どこへ行こうかとそれまでの子どもたちの様子を確認し合いながら意見を出し合い、下見や準備を繰り返し、案内を作成して子どもたちのもとに届ける。この内容や行先、案内が子どもたちの参加意欲に大きく影響し、参加する子どもたちの数も大きく変わってきます。「一人でも多くの子どもたちに参加してもらって、様々な体験をしてもらいたい！」とリーダーたちは持てる知恵を、持てる技を出し合っていました。あるリーダーは絵を描くのがとても得意でした。この特技を生かして誕生したのが「〇〇（リーダー名）の絵日記」と名付けられた活動案内のお手紙でした。前の月の活動報告と次の月の活動案内を文字と絵を交えた「絵日記」にしたのです。この案内を子どもたちのみならず、保護者の方々も毎月、楽しみに待っていました。またあるリーダーは、備品類の整理や片付けが得意でした。毎月の活動やキャンプが終わった後、また次の活動の準備のためにはなくてはならない存在でした。けれども、この貴重な存在であったリーダーたちも、子どもたちや保護者の方々の前で挨拶をしたり、活動の説明をしたりをするといったことは少し苦手でした。が、もう一人、大勢の前で楽しく、わかりやすくお話をするのが得意なリーダーがいたのです。また、子どもたちや保護者の方々それぞれにじっくりとお話をするのが得意なリーダー、料理が得意なリーダー等々。わずか10数名でしたが、それぞれに「得意技」を持ったリーダー達がお互いに力を出し合って、いつも子どもたちがドキドキわくわくするような活動を作り上げていました。

わずか10数名。「自分が休めば子どもたちのグループのリーダーがいなくなる！」と学校の試験期間中も活動を休まなかったリーダー達。「子どもたちのために！」と、それぞれの「賜物」を出し合って素晴らしい「活動＝パッチワーク」を作り上げていました。こども園の子どもたちもそれぞれに神様から様々な「賜物」をいただいています。この一つ一つの「賜物」を活かしあって、こども園で、これからの人生の歩みのなかで、多くの人々と素敵な、そして個性豊かな「パッチワーク」を作り出していくのを楽しみにしつつ、毎日の歩みを続けられればと思います。

10月	乳児（0,1,2歳児）	幼児（3,4,5歳児）
月主題	たのしいね／やりたいな	いっしょに／輝いて
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に祈ったり讃美歌を歌ったりする。 ・自分の好きなことを繰り返し取り組み、友だちの遊びにも関心をもつ。 ・夏から秋へと変化する季節の中で、戸外での活発な遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・神さまがくださった心と体、家族、友だち一人ひとりを大切に思い、感謝する。 ・歌ったり、踊ったり、作ったり、描いたりなど表現する楽しさをひとりでもまたは、友だちや保育者と一緒に味わう。 ・気持ちの良い気候の中、体を動かし、戸外で遊ぶことを楽しむ。
讃美歌	「ちから」 幼児讃美歌Ⅱ15	「わかちあおう」 こどもと歌うさんびか